



日本プライマリ・ケア連合学会
近 畿 ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@ayoume.jp
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 16 (2016.9)

〔代議員会報告〕 近畿ブロック支部代議員会 (7月3日)

外山 学 (益田診療所／大阪府門真市)

新大阪駅近くの会場で、45名の代議員が出席して、近畿ブロック支部代議員会が行われました。

- (1) 昨年度の事業報告及び決算と監査報告、今年度の事業計画及び予算について、順に協議を行い、いずれも原案（幹事会からの提案）通り承認しました。
- (2) H28・29年度役員について、原案通り承認しました。今期より顧問を置くことといたしました（役員名簿は本頁下の「近畿ブロック支部について」をご参照下さい）。 (*ページ2に続く)

昨年度事業報告

- (1) ニュースレターを4回、学会誌に同封して発行した。(6月、9月、12月、H28年3月)
- (2) 第29回近畿地方会(11月29日、奈良県社会福祉総合センター)に際し、補助を行った。
- (3) 各府県の支部(結成準備会)に、補助を行った。
- (4) 「地域支部及びグループ活動にする補助の規定」に基づき、計9件に対して補助を行った。
- (5) 幹事会を開催した。(5月31日)
- (6) 代議員会(府県別代議員会を含む)を2回開催した。(6月21日、11月29日)
- (7) 学会本部との連携、意思疎通に努めた。

今年度事業計画

- (1) ニュースレターを4回、学会発行物に同封して発行する。(6月、9月、12月、H29年3月)
- (2) 第30回近畿地方会(11月27日、和歌山県立医大紀三井寺キャンパス)の円滑な開催に協力し、補助を行う。
- (3) 「地域支部及びグループ活動にする補助の規定」を必要に応じて改訂し、補助を行う。
- (4) 各府県での支部(結成準備)活動の支援を行う。
- (5) 「専門医研修プログラム責任者会議ブロック支部」に協力する。
- (6) 認定薬剤師研修会(10/9・10)、秋季生涯教育セミナー(11/5・6)開催に協力する。
- (7) 幹事会を開催する(6月19日)。
- (8) 代議員会を2回開催する(7月3日、11月27日)。
- (9) 学会本部との連携、意思疎通を更に強化する

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ 支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・ 副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗、戸田和夫
- ・ 幹 事 : 朝倉健太郎 (学会理事)、鈴木富雄 (学会理事)、福原俊一 (学会理事)
足立光平、石丸裕康、一瀬直日、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、高木幸夫
武田以知郎、西尾健治、畑伸弘、羽野卓三、松井善典、三ツ浪健一、森村美奈、吉本清巳
- ・ 監 事 : 大島久明、水野融
- ・ 顧 問 : 空地顕一、松村理司





(2) 学会本部の丸山泉理事長からのご挨拶の後、ディスカッションを行いました。ご挨拶の要旨は以下の通りです。

- ・総合診療専門医に関する進捗状況：今の世代ではなく、子供の世代がどうなるかを見据えて、取り組んでいきたい。
- ・本部機構の改革：現在の内神田の事務所を撤収し、レンタルオフィス（リージャス）を利用、有楽町駅直近の丸ノ内新国際ビルに移転する。
- ・支部強化：若い人を包み込む支部はどうあるべきか、そこにお金をかけたい。専攻医の地方会での発表を充実させたい。支部の医師会との協働。

・学会誌：インパクトファクターが付くものにしたい。したがって英文誌（オンライン）が主体となる。和文誌（オンライン）の中で英文化したいものを、学会の責任で英文化したい。紙ベースの第3の雑誌（実践誌）を9月から発行する。

(3) 第30回近畿地方会（11月27日、和歌山医大 紀三井寺キャンパス）準備の進捗状況について、羽野卓三大会長より報告がありました（次頁の[地方会準備報告]をご参照下さい）。

今年度から、地方会の事前登録時に、1口2千円程度の寄付を募る形を始めることとなりました。

(4) 全体会終了後、約1時間、府県ごとに分かれての会合を持ちました。



〔ご挨拶〕新理事就任

鈴木 富雄（大阪医科大学附属病院 総合診療科）

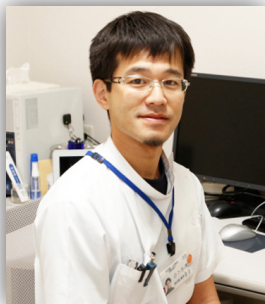
新専門医制度における総合診療専門医育成の成否は、プログラムの質もさることながら、どれだけ若い医師達が、総合診療という新たな領域に魅力を感じ、夢を抱いてそこに飛び込んでくれるかにかかっています。キャリア形成に大きな影響を与える大学総合診療部門の意義と責任は極めて重大であり、一般病院や診療所の先生方との間に柔軟で強力なネットワークを創り、卒前教育から卒後教育、さらには生涯教育に至るまで、多彩で豊かな経験と学びを一貫して提供していく責務があると思っています。この地から、皆様方と共に、総合診療の大きな波を、全国に向けて発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



〔ご挨拶〕新理事就任

朝倉 健太郎（健生会 大福診療所／奈良県桜井市）

この度、近畿ブロック理事に選出いただきました朝倉健太郎です。大きな責任を感じつつ、プライマリ・ケア、医学教育、学会活動の発展のため頑張っていきたいと思っております。みなさまのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。さて、この10年、プライマリ・ケア、総合診療領域の発展は目覚ましいものがありました。一方、次の10年は、私たちが直面する問題はますます大きく複雑になることが予想されます。先人たちが培ってきたノウハウを、より効果的につなぎ止め、アカデミックに、教育的に現場に落とし込んでいくことが具体的な課題になると考えております。新専門医制度や総合診療専門研修を地域のつながりの中で定着させていくことは、そうした一歩になるに違いありません。全国的な動きを見定めつつ、それぞれのコミュニティが発展することが求められています。是非、近畿より大きな動きを発信していきましょう！



【地方会予告】 第30回近畿地方会 (11月27日 和歌山医大 紀三井寺キャンパス：和歌山市) のご案内



<http://www.aeplan.co.jp/pc30kinki/>

在宅における様々なシナリオをもとにシミュレーターを用いた新たな講習会も予定しております。

多くの医療人が景勝の地、和歌浦にご参集いただき有意義な1日を過ごしていただければと存じます。

羽野卓三 (大会長／和歌山県立医科大学)

第30回近畿地方会は11月27日、和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパスで開催します。主題は、和歌山県の特性を考慮して「地域医療再生に向けたプライマリケア～点から線そして地域へのネットワーク」といたしました。

今回は、より多くの情報が得られるとともに、実際に参加いただける会とすべく、特別講演「地域医療再生に向けたプライマリ・ケア」を前野哲博副理事長にお願いするとともに、各領域において5つの教育講演を準備しました。小児科領域では、「風邪に使える薬、使ってはいけない薬、使っても無駄な薬」、皮膚科領域では「アンチエイジング外用治療」、救急領域では「どうしてプライマリ・ケアに外傷診療が必要か?」、産業医の領域では「ストレスチェックの実施経験」、コメディカルの領域では「コメディカルに知ってほしい身体診察」を予定しております。

また、若手部会セッションとして「ポートフォリオ研修会」を例年のように行いますが、症例検討を中心とした「医学生や研修医のための総合医療カンファランス」も行う予定にしております。さらに、「在宅看護・介護シミュレーター研修」として、

【支部報告】 第4回滋賀県家庭医療指導医FD研修会 (5月30日)

中村琢弥 雨森正記 (弓削メディカルクリニック／滋賀県蒲生郡竜王町)

弓削メディカルクリニック滋賀家庭医療学センターにて第4回滋賀県家庭医療指導医FD研修会を開催しました。

本会では、これまで滋賀県の家庭医療指導医の皆様へ学習いただいた教育概念が実際の教育現場でのどのように活かされているのかを体感・議論するために、滋賀家庭医療学センターの家庭医療後期研修プログラム内にて実際に行われている「ビデオレビュー」を特別公開開催することとなりました。

方法としては、特別に選出した家庭医療専攻医一名により提示された外来ビデオ映像に対して、指導医数名が実際の指導しながらフィードバックを行い、その後、周りを囲む10名近くの指導医を交えて、様々な角度からディスカッションを行うという手法をとりました。

今回特に議論が盛り上がったテーマとしては「指導医がビデオ映像をいかに分析するのか」「会全体のファシリテートをどう進めるのか」「ビデオレビューによって、学習者となる専攻医がどのような学びや感想を得ているのか(実際の専攻医に参加してもらっていたので率直な感想を伺えました)」などでした。またビデオレビューをどのように構築するのかを話し合う機会はこれまであまりなかったという気づきを指導医陣として得ることもでき、本会は今後様々な形で開催するなどの発展的な展開もあり得ると結ばれて盛会の中終了となりました。



Take Home Message :

ビデオレビューを囲んでの議論の会合は、指導医に教育手法の新たな議論の場を提供しうる。

〔幹事会企画〕プライマリ・ケア医療史の伝承についての提案、及び監事交代に際して

水野 融（岡田医院／京都市右京区）

時は容赦なく経過し、人々は過去を忘れ去ってしまう。歴史書に書かれていることは誰かの私感や都合である部分もあり、事実が示されているわけではない。従って過ぎ去りし医療を語っても意味がないと考える人が多い。しかしながら、プライマリ・ケアの精神は今も昔も変わらない。そこで本学会において貴重な医療史の保存・研究発表が必要であると提案する次第である。歴史も人間の一生も、途切れなく続くものであり、急に新しい医療が天から降ってくるわけではない。過去の医師が何もしなかったなどと、なぜ言うのだろう。必ず、誰かが自分より先に何かをしているのに。



昭和30年の聴診器

旧プライマリ・ケア学会の母体である実地医家のための会創立者・永井友二郎先生の御令室である菊枝様は、杉田玄白の6代目にあたる方で、一度だけお会いできたが、生涯忘れられない思い出である。お二人は名門同士の特別な縁組ではなく、小学校の幼馴染であると伺い、医学の歴史は普通の生活の中に真にあるものと大いに感銘を受けたのであった。余談だが、私の妹の名は「翼」という。杉田玄白の幼名で、医家の子弟には多い名前だ。人はいつも、医学の伝承に心惹かれるものなのだと思う。

なお、水野は幹事を今回で退任し、澤木先生の後任として監事を命ぜられました。澤木先生、大島先生、御指導をどうぞお願いいたします。

〔支部からのご連絡〕

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

- (1) **地域支部・グループ研究活動に対する補助**について：近畿ブロック支部では、府県単位の地域支部活動やさまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。要項等はニュースレター12号（http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf_nl/kinki_12.pdf）の4ページをご参照願います。
- (2) **「専門医・認定医／認定薬剤師 単位申請」及び「ブロック支部補助」申請の手順**について：
単位申請は、ブロック支部幹事会での承認の後、学会本部の認定委員会での審査という**2段階**の手続きとなります（ブロック支部からの補助は、ブロック支部幹事会の承認のみで決まります）。できるだけ、申請される方の負担を減らせるよう、窓口を一元化し、郵送回数を最小とした手順を整理していますので15号（http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf_nl/kinki_15.pdf）の4ページをご参照願います。
- (3) **府県支部の所属**について：学会会員の都府県（支部）の所属は、原則「勤務先」の所在地となっており、ブロック支部事務局に申し出ることにより、移動（又は重複）が可能です。
学会に登録した連絡先（郵送物が届く住所）以外の府県支部への所属をご希望の方は、近畿ブロック支部事務局までご連絡をお願いいたします。各府県支部からの連絡が確実に届くようにするため、差し支えなければ、連絡先を「勤務先」にする（変更には学会への届出が必要です）ことをお勧めいたします。今後の府県支部活動の発展のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（4）府県支部の連絡窓口及び担当者一覧

- 〔滋 賀〕 浅井東診療所 事務局 井関 敏夫 〒526-0203 長浜市野瀬町 828 番地
E-mail jpcashiga@gmail.com Tel. 0749-76-8111 Fax. 0749-76-8118
- 〔京 都〕 下京西部医師会事務所 京都支部長 小泉俊三
〒601-8452 京都市南区唐橋堂ノ前町 15-9 エステート南ビル 3 F
E-mail simonishi@ishikai.or.jp Tel. 075-693-3900 Fax. 075-693-3911
- 〔大 阪〕 益田診療所 外山 学 〒571-0067 門真市石原町 18 番 15 号
E-mail toyama@osaka.med.or.jp Tel. 06-6901-0231 Fax. 06-6901-8227
- 〔兵 庫〕（準備中：仮）兵庫県医師会 事務局 西田 恵 〒651-8555 神戸市中央区磯上通 6-1-11
E-mail m.nishida@hyogo.med.or.jp Tel. 078-231-4114 Fax. 078-231-8113
- 〔奈 良〕 奈良医大総合医療学教室 秘書 生駒 佳子 〒634-8522 橿原市四条町 840
E-mail soushin@naramed-u.ac.jp Tel. 0744-29-8905 Fax. 0744-24-5739